



これまでのコマ大戦は激戦が繰り広げられた

町工場を席巻するコマ旋風!

直径2cmに秘められた真の意味とは!?

モノづくり日本会議と日刊工業新聞社は7月5日、名古屋市港区のポートメッセ名古屋で「全日本製造業コマ大戦」のキーマンたちによるパネルディスカッションを開いた。同会場で3・5日に開いた「難加工技術展2013」(日刊工業新聞社主催)内のイベントで、全日本製造業コマ大戦協会との共催。川賢司同協会会長や、初代王者・大坪正人由紀精密常務らが、同じ日の相田祐司エコックス社長をコーディネーターにモノづくりへの思いや、大戦をきっかけに交流拡大に動きだした中小業経営者の今を語った。

技術と高い感性が魅力に

大坪氏

相田 静岡県沼津市で工場向けオイルミスト用フィルターを販売する中小企業を経営している。緑川氏に頼まれて気軽にコマ大戦の実況をやり始めたが、これほど大きなイベントになると想像できなかつた。たがいにコマ、されどコマ。パネリストの皆さんには直径2cmのコマにかける熱い思いを語つてもらひ。まずは自己紹介から。

大坪 第1回大会王者といふことでこの場にいる。当社は1950年創業で、神奈川県茅ヶ崎市にある。ネジやピンなど金属部品の切削加工を行う20人程度の小さな会社だ。ITバブル崩壊後、製造する部品が減つてきた。そこで2006年に父が経営する当社

に戻つて以降、航空機産業など新分野にも挑戦している。

山田 当社は岐阜県美濃市に本社がある。72年に創業し、工作機械や航空機部品など金属加工を手がけてい

る。社員は7人。一人あたり

は直径2cmのコマにかける

熱い思いを語つてもらひ。ま

ずは自己紹介から。

相田 私は東海予選名古屋

場所の実行委員長を務めた。

申込開始日を決めると山田氏

から何時からフアースの受け

付けを始めるのかとの問い合わせがあつた。当日の朝、出

社すると申込書が2枚あつた。受付時間を見ると1枚目

は11時50分、受付1分前だから無効と氣づいたようだ。12時1分に一枚目を送ってきていた。出たくて仕方ない気持ちが伝わった。

相田 私は東海予選名古屋

場所の実行委員長を務めた。

申込開始日を決めると山田氏

から何時からフアースの受け